

令和8年度 嬉野市下水道事業会計補正予算（第1号）

（総則）

第1条 令和8年度嬉野市下水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第2条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収 入				
	（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
		千円	千円	千円
第1款	下水道事業収益	866,185	1	866,186
第2項	営業外収益	592,212	1	592,213

支 出				
	（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
		千円	千円	千円
第1款	下水道事業費用	855,201	558	855,759
第1項	営業費用	775,342	123	775,465
第2項	営業外費用	76,859	435	77,294

（資本的収入及び支出）

第3条 予算第4条本文括弧書を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額172,984千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,236千円、過年度分損益勘定留保資金121,379千円、当年度分損益勘定留保資金41,966千円及び、当年度利益剰余金額403千円で補てんするものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

支 出				
	（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
		千円	千円	千円
第1款	資本的支出	603,820	6,800	610,620
第2項	企業債償還金	420,068	6,800	426,868

(企業債)

第4条 予算第6条に定めた企業債の限度額を次のとおり補正する。

補正前

起債の目的	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
下水道事業	107,900千円	普通貸借又は証券発行	3.0%以内(ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによる。ただし、企業財政その他の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還もしくは低利に借換えすることができる。
資本費平準化債	223,800千円	〃	〃	〃

補正後

起債の目的	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
下水道事業	補正前と同じ	補正前と同じ	6.0%以内 補正前と同じ	補正前と同じ
資本費平準化債	〃	〃	〃	〃

(議会の議決を経なければ流用することができない経費)

第5条 予算第9条に定めた経費の金額を次のとおり補正する。

	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	千円	千円	千円
・職員給与費	53,464	114	53,578

(利益剰余金の処分)

第6条 予算第11条本文中「316千円」を「403千円」に改める。

令和8年8月28日提出

嬉野市長 山口 卓也

令和8年度 嬉野市下水道事業会計予算実施計画変更

収益的收入及び支出

收入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 下水道事業 収益			(千円) 866, 185	(千円) 1	(千円) 866, 186	
	2 営業外収益		592, 212	1	592, 213	
		4 消費税及び 地方消費税 還付金	6, 312	1	6, 313	

支出

5

令和8年度 嬉野市下水道事業会計予算実施計画変更

資本的收入及び支出

支出

[illegible]

令和 8 年度 嬉野市下水道事業会計予定キャッシュフロー計算書

(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで)

下水道事業会計 間接法

(単位 円)

I 業務活動によるキャッシュフロー

当年度純利益	2,629,547
減価償却費	381,162,000
固定資産除却費	489,000
賞与引当金の増加額 (△は減少)	43,660
法定福利費引当金の増加額 (△は減少)	△ 43,660
貸倒引当金の増加額 (△は減少)	△ 359,578
長期前受金戻入額	△ 205,988,000
受取利息及び配当金	△ 600,000
支払利息及び企業債取扱費	69,650,000
営業及び営業外未収金増減額 (△は増加)	△ 26,732,250
営業及び営業外未払金増減額 (△は減少)	29,712,896
小計	249,963,615
受取利息及び配当金	600,000
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 69,650,000
業務活動によるキャッシュフロー①	180,913,615

II 投資活動によるキャッシュフロー

固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 168,494,367
他会計補助金による収入	39,700,000
国庫補助金による収入	42,966,027
工事負担金による収入	15,810,000
投資活動によるキャッシュフロー②	△ 70,018,340

III 財務活動によるキャッシュフロー

企業債による収入	331,700,000
企業債の償還による支出	△ 426,864,423
財務活動によるキャッシュフロー③	△ 95,164,423

IV 現金預金の増加額④＝①＋②＋③ 15,730,852

V 現金預金の期首残高 290,750,528

VI 現金預金の期末残高 306,481,380

補正予算給与費明細書

1 総括

区 分		職 員 数		給 与 費				法定福利費 (千円)	合 計 (千円)
		特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
		(人)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		
補正後	損益勘定 支弁職員	10	4	342	17,794	14,122	32,258	5,802	38,060
	資本勘定 支弁職員		(2) 1	4,206	4,083	4,800	13,089	2,429	15,518
	合 計	10	(2) 5	4,548	21,877	18,922	45,347	8,231	53,578
補正前	損益勘定 支弁職員	10	4	228	17,794	14,122	32,144	5,802	37,946
	資本勘定 支弁職員		(2) 1	4,206	4,083	4,800	13,089	2,429	15,518
	合 計	10	(2) 5	4,434	21,877	18,922	45,233	8,231	53,464
比 較	損益勘定 支弁職員			114			114		114
	資本勘定 支弁職員								
	合 計			114			114		114

()内は会計年度任用職員を外書きしたもの。

手当の内訳	区 分	扶養 手当	期末 手当	勤勉 手当	住居 手当	通勤 手当	管理職 手当	時間外勤 務手当	退職 手当	児童 手当	合計
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	補正後	762	6,066	4,968	624	163	540	1,200	4,159	440	18,922
	補正前	762	6,066	4,968	624	163	540	1,200	4,159	440	18,922
	比 較										

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分		職 員 数		給 与 費				法定福利費 (千円)	合 計 (千円)
		特別職	一般職	報 酬	給 料	手 当	計		
		(人)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		
補正後	損益勘定 支弁職員	10	4	342	17,794	14,122	32,258	5,802	38,060
	資本勘定 支弁職員		1		4,083	3,170	7,253	1,319	8,572
	合 計	10	5	342	21,877	17,292	39,511	7,121	46,632
補正前	損益勘定 支弁職員	10	4	228	17,794	14,122	32,144	5,802	37,946
	資本勘定 支弁職員		1		4,083	3,170	7,253	1,319	8,572
	合 計	10	5	228	21,877	17,292	39,397	7,121	46,518
比 較	損益勘定 支弁職員			114			114		114
	資本勘定 支弁職員								
	合 計			114			114		114

手当の内 訳	区 分	扶養 手当 (千円)	期末 手当 (千円)	勤勉 手当 (千円)	住居 手当 (千円)	通勤 手当 (千円)	管理職 手当 (千円)	時間外勤 務手当 (千円)	退職 手当 (千円)	児童 手当 (千円)	合計 (千円)
	補正後	762	5,180	4,224	624	163	540	1,200	4,159	440	17,292
	補正前	762	5,180	4,224	624	163	540	1,200	4,159	440	17,292
	比 較										

イ 会計年度任用職員

区 分	職 員 数 (人)	給 与 費				法定福利費 (千円)	合 計 (千円)
		報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)		
補正後	損益勘定 支弁職員						
	資本勘定 支弁職員	(2)	4,206	1,630	5,836	1,110	6,946
	合 計	(2)	4,206	1,630	5,836	1,110	6,946
補正前	損益勘定 支弁職員						
	資本勘定 支弁職員	(2)	4,206	1,630	5,836	1,110	6,946
	合 計	(2)	4,206	1,630	5,836	1,110	6,946
比 較	損益勘定 支弁職員						
	資本勘定 支弁職員						
	合 計						

()内は、会計年度任用の職を占める職員であって、その1週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める職員の1週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員について外書きしたもの。

手当の内 訳	区 分	扶養 手当 (千円)	期末 手当 (千円)	勤勉 手当 (千円)	住居 手当 (千円)	通勤 手当 (千円)	管理職 手当 (千円)	時間外勤 務手当 (千円)	退職 手当 (千円)	児童 手当	合計 (千円)
	補正後		886	744							1,630
	補正前		886	744							1,630
	比 較										

令和 8 年度 嬉野市下水道事業会計予定貸借対照表

		(令和9年3月31日)		
下水道事業会計				(単位 円)
資産の部				
1. 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ	土地		450,334,958	
ロ	建物	355,137,255		
	減価償却累計額	<u>△ 53,221,915</u>	301,915,340	
ハ	構築物	10,689,078,278		
	減価償却累計額	<u>△ 1,400,281,926</u>	9,288,796,352	
ニ	機械及び装置	1,143,332,184		
	減価償却累計額	<u>△ 444,436,463</u>	698,895,721	
ホ	工具器具及び備品	287,749		
	減価償却累計額	<u>△ 6,270</u>	281,479	
ヘ	建設仮勘定		<u>25,142,000</u>	
有形固定資産合計			<u>10,765,365,850</u>	
固定資産合計				10,765,365,850
2. 流動資産				
(1)	現金預金		306,481,380	
(2)	未収金		116,710,449	
(3)	前払金		0	
(4)	貸倒引当金		<u>△ 269,912</u>	
流動資産合計				<u>422,921,917</u>
資産合計				<u><u>11,188,287,767</u></u>

負債の部 (単位 円)

3. 固定負債			
（1）企業債			
イ 建設改良等企業債		4,402,057,109	
ロ その他の企業債		0	
固定負債 合計			4,402,057,109
4. 流動負債			
（1）企業債			
イ 建設改良等企業債		421,461,253	
（2）未払金		117,790,824	
（3）前受金		0	
（4）引当金			
イ 賞与引当金	4,098,708		
ロ 法定福利費引当金	<u>751,319</u>	4,850,027	
（5）預り金		<u>50,000</u>	
流動負債 合計			544,152,104
5. 繰延収益			
（1）長期前受金		6,290,512,303	
（2）長期前受金収益化			
繰延収益 合計		<u>△ 1,041,477,215</u>	
負債 合計			<u><u>5,249,035,088</u></u>
			<u><u>10,195,244,301</u></u>

資本の部

6. 資本金			
（1）固有資本金		589,835,591	
（2）繰入資本金		<u>158,110,000</u>	
資本金合計			747,945,591
7. 剰余金			
（1）資本剰余金			
イ 他会計補助金	58,328,804		
ロ 国庫補助金	<u>13,741,208</u>		
資本剰余金合計		74,402,554	
（2）利益剰余金			
イ 利益積立金	134,468,909		
ロ 当年度未処分利益			
剰余金	<u>36,226,412</u>		
利益剰余金合計		<u>170,695,321</u>	
剰余金合計			245,097,875
資本合計			<u>993,043,466</u>
負債・資本合計			<u><u>11,188,287,767</u></u>

重要な会計方針等に関する注記

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法
- ・ 主な耐用年数
 - 建物 8年～50年
 - 構築物 8年～50年
 - 機械及び装置 5年～50年
 - 工具器具及び備品 5年～ 6年

2 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当に係る負担金は、「嬉野市下水道事業に属する職員の退職手当に関する協定書」に基づき、嬉野市一般会計がその全部を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。

(2) 賞与引当金、法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給及びその手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、未収金の年度末残高のうち、個別に回収可能性を検証し算出した翌事業年度回収不能見込額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

- ・ 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

1 重要な非資金取引は該当事項なし。

III 予定貸借対照表等に関する注記

・ 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は4,823,519千円である。

IV セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

嬉野市下水道事業では、農業集落排水事業、公共下水道事業、市営浄化槽事業の3事業を運営している。各報告セグメントの事業内容は、次のとおりである。

事業区分	事業の内容
農業集落排水事業	農業集落排水計画区域において汚水进行处理する業務
公共下水道事業	公共下水道計画区域において汚水进行处理する業務
市営浄化槽事業	市営浄化槽計画区域において汚水进行处理する業務

2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日）

（単位：千円）

事業区分	農業集落排水事業	公共下水道事業	市営浄化槽事業	合計
営業収益	78,520	125,489	45,370	249,379
営業費用	341,375	284,315	120,717	746,407
営業損益	△ 262,855	△ 158,826	△ 75,347	△ 497,028
経常損益	1,448	778	403	2,629
セグメント資産	5,054,387	4,896,415	1,237,486	11,188,288
セグメント負債	4,425,986	4,602,829	1,166,429	10,195,244
その他の項目				
他会計補助金（基準内）	160,375	109,844	14,140	284,359
他会計補助金（基準外）	62,625	8,556	57,460	128,641
減価償却費	208,478	144,682	28,002	381,162
特別利益	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0
有形固定資産の増加額	44,793	19,900	103,311	168,004

V 減損損失に関する注記

該当事項なし。

VI リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当事項なし。

VII 重要な後発事象に関する注記

該当事項なし。

VIII その他の注記

1 地方公営企業法適用時における固定資産の帳簿総額

資産取得時から法適用の日（令和4年4月1日）の前日までに減価償却が行われてきたものとみなし、取得価額から減価償却累計額を控除して算定している。

收入

14

令和 8 年度 嬉野市下水道事業会計補正予算（第 1 号）説明書

収益的收入及び支出
支 出

款	項	目	既決予算額	補正予算額	計	説 明		
						節	金 額	備 考
1 下水道事業 費用			(千円) 855, 201	(千円) 558	(千円) 855, 759		(千円)	(千円)
	1 営業費用		775, 342	123	775, 465			
		2 処理場費	312, 993	0	312, 993			
						修繕費	605	計器類機器 605
						委託料	△ 605	施設維持管理（市営 浄化槽） △605
		3 総係費	50, 914	123	51, 037			
						報酬	114	下水道審議会委員 10人 114
						旅費	9	費用弁償（下水道審 議会委員） 9
	2 営業外費用		76, 859	435	77, 294			
		2 雑支出	7, 209	435	7, 644			
						その他雑支出	435	雑支出 435

資本的収入及び支出
支 出

16